



ソフィアだより



9月

絶望のとなりに

だれかがそっと、腰掛けた

絶望は、となりの人に聞いた

「あなたはいつたいたれですか？」

となりのひとはほえんだ

「わたしの名前は希望です」

やなせ たかし



その日私は、明るい色のＴシャツを着ていました。そのＴシャツを指して「かわいい」と言ってくれた２歳児の女児がいました。

その一言を聞いたとき、「こどもが『かわいい』と感じその言葉を選んで伝えられることってなんてすごいことだろう」と胸が温くなりました。

小説「舟を編む」には、辞書をつくる人々が、ひとつひとつの言葉を丁寧に紡いでいく姿が描かれています。子ども達の毎日の生活もまさに、そのように言葉をひとつひとつ拾い上げていく時間なのだと思うのです。

「かわいい」「うれしい」「たのしかった」・・・短い言葉でも、こどもの心からあふれた瞬間には大きな意味があります。その言葉を受け止め、育んでいくことが、子ども達の近くにいる私たち大人の役割ではないでしょうか。

毎日の酷暑の中にも、秋の匂いをふっと感じる時が出てきました。
自然の変化を感じ取りながら、こどもたちからの言葉の出会いを大切に、
そしてそこに込められたこどもたちの思いを大切にしていきたいと思います。

ソフィア東生駒こども園 園長 中畑 直実

